



## 2022年度 北陸学院大学 出張講座一覧

分野	No.	講座名	概要	キーワード	講師	対象	定員	使用機材等
社会	1	聖書に学ぶ人生観	聖書が語る人生観とはどのようなものでしょう？人生の困難や試練をどう受け止めればよいのでしょうか？旧約聖書に描かれるヨセフ物語を通して、よい人生を生きるヒントを探ります。	聖書/キリスト教/人生観	矢澤 励太 (人間総合学部 教授)	一般	40名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
	2	「犯罪・非行」に関わる「ボランティア」を通して考える社会のあり方	「犯罪・非行」とは、はたして「他人事」なのでしょうか？だから「ボランティア」が必要なのでしょうか？そうした問いかけから、私たちがどのような「社会」で暮らしているのか、一緒に考えてみませんか？	犯罪/非行/ボランティア	竹中 祐二 (人間総合学部 准教授)	一般	40名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
	3	災害ボランティアと市民社会	災害発生直後から復旧・復興に至るさまざまな場面で、ボランティアは欠かせない存在となっています。この講義では、大学による国内外の被災地支援活動を事例に、ボランティアの社会的役割について考えます。	目の前のひとり/最後のひとり	田中 純一 (人間総合学部 教授)	中・高校生 一般	40名	プロジェクタ、スクリーン
	4	外国人労働者と日本の地域社会	1990年代から外国人労働者が増加しています。外国人労働者の増加に伴う日本の地域社会の変容を把握し、文化的背景の異なる人々が同じ地域社会でどのように暮らしてゆけばよいのかについて考えます。	外国人労働者/地域社会	俵 希實 (人間総合学部 教授)	一般	40名	プロジェクタ、スクリーン
	5	社会保障の歴史～エリザベス教養法を中心に	16世紀に誕生し、その後世界の社会保障（雇用、医療、介護そして教育等々）に大きな影響を与えたイギリスのエリザベス教養法について、社会経済史という視点から分析解説していきます。	社会史/経済史/社会保障	井上 克洋 (人間総合学部 准教授)	一般	40名	プロジェクタ、スクリーン
	6	なぜ有権者は選挙で投票するのか:石川県の選挙を事例に考える	なぜ有権者は選挙で投票するのでしょうか。この講座では、日本の有権者の投票参加が低下している要因について、近年の政治・社会状況をふまえながら石川県の選挙データの分析から考察します。	政治/選挙/投票参加	若山 将実 (人間総合学部 教授)	一般	40名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
教育	7	英語による英語の授業の基本	ここ数年、文部科学省の英語教育に関する改革が急速に進んでいます。今や、「英語で英語の授業」は当然のことですが、意外にその具体的なノウハウは現場の教員に伝わっていません。実際に英語の授業を体験してみませんか。	英語教育/ 英語による英語の授業	伊藤 雄二 (人間総合学部 教授)	英語を教えることに 興味がある方	20名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン ホワイトボード、CDプレーヤー
	8	小学校英語における意味のあるやり取りについて	小学校に英語授業が本格実施される中で、「意味のあるやり取り」が話題になっています。そのために指導者が大切にすべきこと、準備しておきたいことなどを具体を通して一緒に考えていきましょう。	Small Talk/絵本活用/指遊び	中野 聡 (人間総合学部 教授)	小学校教員	40名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
	9	絵本が与える効果について触れて・感じて・考えてみよう！	絵本の面白さは絵が語ると言われるように、絵本の「絵」には、人をウキウキ・ドキドキ・ハラハラさせる効果が含まれています。また絵本は、「あなたを映し出す鏡」とも言われます。絵本をじっくりと見つめ、一緒に絵本の不思議について考えてみませんか？	絵本/効果/読み聞かせ	高村 真希 (人間総合学部 講師)	高校生 一般	20名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
	10	子どももおとなも心が動くとき！	なぜ子どもの育ちに自然環境が必要なのか？子どもたちは自然と対話し、多様に関わりながら何を学んでいるのでしょうか？つい安全管理ばかりに陥りがちな乳幼児の戸外遊びの姿から「子どもを見守る」本当の意味について一緒に考えていきたいと思います。	自然環境/乳幼児/対話	谷 昌代 (人間総合学部 講師)	一般(乳幼児を育てる保護者・子どもの育ちに関心のある方) 保育者	20名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
	11	幼児期の子どもの育てておきたいこと	時期を逃せば後で身に付きにくい、けれど、身に付けておけば幸せにつながると思われる力がある。その力とは一体何か。一緒に紐解きながら、よりよい子育てのあり方について考えていきます。	幼児期/子育て/ 社会情動的スキル	虫明 淑子 (人間総合学部 教授)	就学前の子どもをもつ 保護者	12名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
	12	アンサンブルで感じようー音でつながる心と心ー	自分の体や楽器を使って、仲間とのアンサンブルに挑戦します。さて、音を合わせるためにはどのようにすればよいのでしょうか。心と心を通わせ、その時その仲間とともに生み出すことのできる音楽を感じましょう。	音楽/アンサンブル/楽器	武田 恵美 (人間総合学部 助教)	幼児～大人	5名以上 20名程度	プロジェクタ、スクリーン、ホワイトボード、CDプレーヤー、長机、楽器(打楽器・鍵盤楽器)
	13	子どもとの信頼関係を築くためのコツ	子どもとのコミュニケーションを円滑に進めるには互いの信頼関係が大切ですが、そのためには少なからずスキル(学びによる技能)が求められます。日頃のありようを振り返り、信頼関係を築くために大切なことを考えてみたいと思います。	アサーション/聴く技術/ 自己開示	上農 肇 (短期大学部 教授)	一般(特に反抗期の子どもを持つ保護者)	30名	プロジェクタ、スクリーン (パソコン持参 VGA、HDMI可)
	14	子どもたちが喜び伸びていくためにー肯定的な見方をー	子どもたちの様子を戸惑うことはありませんか。ついつい否定的な言葉を投げかけてはいませんか。学校現場と教育相談機関における37年間の経験から、子どもたちを無理なく肯定的に見ていく見方・考え方を一緒に考えていきたいと思います。	否定的な言葉/肯定的な見方	茶谷 信一 (短期大学部 教授)	小学校・幼稚園・保育園 こども園 保護者 小学校・幼稚園・保育園 こども園 学校関係者	40名	ホワイトボード
	15	グループディスカッションのすすめーみんなで楽しくー	私たちは様々な場面で協働作業を行います。しかし、一生懸命作業をしても上手く行かない時もあります。本講座ではグループワークでより良い成果を得るためのグループディスカッションのコツを紹介いたします。	グループディスカッション/ コミュニケーション/傾聴	富岡 和久 (短期大学部 教授)	中学生 高校生 一般	40名程度 (応相談)	プロジェクタ、スクリーンあるいは 大型モニター (パソコン持参 VGA、HDMI可)
	16	オノマトペ(擬音語、擬態語)を楽しむ	私たちが知らず知らずのうちによく使っているオノマトペ(擬音語、擬態語)。今回は、定型化されたオノマトペではなく、子どもが成長過程の中で発するオノマトペについて、これまでの研究を踏まえて考えます。	オノマトペ(擬音語、擬態語)/ 子どもの育ち/ 子どもの言葉	中島 賢介 (人間総合学部 教授)	一般 保育者 教育者	20名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
17	子どもの世界は「物語」	子どもは、同じ空間にいても、実は一人ひとり異なる世界、それぞれの「物語」の中に生きています。絵本に見られる子どもの姿、園や学校におけるくらしの中の姿をもちに、子どもの世界の面白さや内面理解の視点、大人の関わり方について考えてみましょう。	子どもの世界/ 一人ひとりの文脈/内面理解	福江 厚啓 (人間総合学部 准教授)	一般(保幼小保護者等) 教育関係者	40名	プロジェクタ、スクリーン (パソコン持参 VGA、HDMI可)	
18	科学的思考力を育成する理科授業とは	子どもに科学的思考力を身に付けさせることは、理科教育における重要な課題です。本講座では、特に小学校での授業実践例を紹介し、子どもが科学的思考力をどのように身に付けていくかを説明します。	科学的思考力/小学校/ 理科授業	川真田 早苗 (人間総合学部 教授)	小学校教諭 小学生の保護者	20名	プロジェクタ、スクリーン (パソコン持参)	
19	遊びの中に学びがある	「学び」とは「そうだったのか！わかった！」等の心の躍動を伴うものです。幼児期の遊びには、心が動く→やってみる→面白くなる→繰り返すのステップがあり、その過程を経ることで幼児は自然と学んでいます。そのことを手作り教材を通じて感じてほしいです。	体験/心が動く/手作り教材	向出 圭吾 (人間総合学部 講師)	高校生 一般	20名	(教材持参)	
情報	20	SNSのその使い方、正しいですか？	スマートフォン所有率の増加と同時に、SNS利用によるトラブルが多くなるようになってきました。便利なはずの道具が、トラブルを引き寄せることもあります。例を取り上げ、利用する上での注意点を紹介します。	SNS/モラル/マナー	池村 努 (短期大学部 教授)	中学生 高校生 一般	40名 (応相談)	プロジェクタ、スクリーン
	21	考えよう！ネットのこと、スマホのこと	石川県では小中学生には携帯電話を持たせない条例があります。けれど、ゲーム機や音楽プレーヤーでもネットにつながります。また、スマホを持つ子供も増えてきています。そこで、ネットやスマホのことについて考えてみましょう。	小中学生/インターネット/ スマホ	村井 万寿夫 (人間総合学部 教授)	小学生 中学生	40名	プロジェクタ(HDMI)、 スクリーン、または電子黒板
	22	情報には嘘がある？	現代社会は情報が溢れかえっています。情報の海で溺れないためにも情報リテラシーの涵養が重要となってきています。そこで、普段触れる情報を様々な観点から見直してみたいと思います。	情報/情報リテラシー/ 情報社会	若杉 亮平 (人間総合学部 准教授)	一般	30名	プロジェクタ(HDMI)、スクリーン

分野	No.	講座名	概要	キーワード	講師	対象	定員	使用機材等
「言語と文化」	23	観光地・金沢の魅力を伝える～ガイドのカ～	「観光立国」を目指す日本の人気の観光地の一つとなった金沢。その魅力を伝えるために欠かせない存在であるガイドに必要な力は何か？知識、ホスピタリティ、行程管理など多様な視点から魅力的なガイドの条件を考えましょう。	観光/ガイド/ホスピタリティ	薮名 理恵 (短期大学部 助教)	一般 観光関連	40名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン ホワイトボード
	24	絵本で楽しむ英語と異文化	英語の絵本からは子どもも大人も英語や異文化を学ぶことができます。アクティビティをプラスすると楽しみ方の可能性も広がります。読み手も聞き手も楽しめる、さまざまな読み聞かせのアイデアを考えてみましょう。	英語/絵本/異文化	木村 ゆかり (短期大学部 助教)	小学生 中学生 高校生 一般	40名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
	25	和食の成立過程	近年、日本の初期稲作民から中世までの米品種は、現在私たちが食している粘り気の強い品種とは全く異なることが明らかになってきました。この事実を踏まえて、中世に和食の諸特徴が成立するまでの過程をご説明します。	和食/成立過程/文化間比較	小林 正史 (人間総合学部 教授)	高校生 一般	40名	パソコン、プロジェクタ
	26	観光学入門	観光の基礎知識として、観光の概念、観光資源、観光産業について解説します。そして、観光者に対し石川県のどんなところが魅力か、アピールすべきかについて、一緒に考えます。	観光/石川県/地域資源	沢田 史子 (短期大学部 教授)	一般	40名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
	27	創作ダンス	ダンスの難しい技術は用いませぬ。絵を描くように、音楽を奏でるように、表現したいことを自由に身体で現わしてみましょ。〔参加される際は、動きやすい服装をご用意ください〕	創作ダンス/身体表現	田邊 圭子 (人間総合学部 教授)	一般	10～20名	音響機材 マイク(ピンマイク)
	28	「英語がわかる」ってどんなこと？ ～ことばの不思議、人間の不思議～	「英語がわかった」時、あなたの頭の中ではどんなことが起こっているのでしょうか。多義語や類似表現など英語の実例を見ながら、英語のしくみ、ことばを使いこなす人間の不思議に迫ってみましょ。	英語のしくみ/ことばとところ /言語知識と言語運用	宮浦 国江 (人間総合学部 教授)	高校生 一般	40名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
	29	日本の詩歌を英語で読む	日本語と英語は、どちらも詩歌の長い伝統をもっています。この講座では、日本の詩が喚起するイメージが、英訳においてどのように伝えられ、また変容しているかを考察します。	日本の詩歌/英語/翻訳	茶谷 丹午 (短期大学部 助教)	高校生 一般	40名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
「福祉・心理」	30	ヤングケアラー支援を考える	ヤングケアラーとは「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども」と定義されます。本講座では、ヤングケアラー支援のあり方について考えます。	ヤングケアラー（子どもケアラー）/若者ケアラー/きょうだい児（きょうだい）	松本 理沙 (人間総合学部 講師)	中・高校生 一般	40名	プロジェクタ、スクリーン (パソコン持参 HDMI可)
	31	人間のモラルと社会	性善説や性悪説など、人が道徳的であるかどうかは広く議論されてきました。この講座では、最新の道徳心理学の知見から、人間社会の傾向、人間の道徳・倫理観について考えます。	道徳性/利他行動/共感	加藤 仁 (人間総合学部 講師)	一般	40名	プロジェクタ、スクリーン、 スピーカー
	32	相手の話を聴く上で大切なことは？	私たちが日常の人間関係において相手の話をよく聴くことは、人間関係を円滑していく上で大切なことだと思います。普段の自分の話の聴き方について振り返り、よりよい話の聴き方（傾聴）において大切なことを考えてみたいと思います。	傾聴/カウンセリングマインド /話の聴き方	齊藤 英俊 (人間総合学部 准教授)	高校生 一般	40名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
	33	障害者福祉基礎講座 ～よき理解者・支援者となるために～	こころの不調や障害は、社会環境、あるいは人々の中でどのように捉えられているのか考えます。障害のある人を直接支援するための技術的な内容ではなく、その前提となる概念理解の講座です。	共生社会/ こころのバリアフリー	田引 俊和 (人間総合学部 教授)	高校生 一般	40名	プロジェクタ、スクリーン (パソコン持参)
	34	ケアが変わる記録の方法	「記録に自信がない」「書きたいことがまとまらない」等、ケアに携わる方からよく聞かれる言葉です。この講座では、ケアの経過記録を中心に、適切な記録の書き方について学んでいきます。記録を書く力を高め、ケアの質の向上に繋がっていただければ幸いです。	ケアの質/記録	真砂 良則 (人間総合学部 教授)	福祉従事者	30名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン ホワイトボード
	35	生徒同士の助け合いを支えるピア・サポート	いじめの改善や予防のためにアメリカ、カナダ、イギリスを中心にピア・サポートが行われてきました。日本にも導入されている生徒同士の助け合いを促進するためのピア・サポートについて解説します。	ピア/サポート/学校	松下 健 (人間総合学部 准教授)	高校生 教育関係者	20名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン ホワイトボード、社会的距離をとれる部屋
「食生活」	36	健康な食事に欠かせない野菜を上手に食べよう！	現代の食生活について、とくに若い世代の野菜の摂取量が他の世代より少ないことが指摘されています。「野菜は1日どれくらい必要なのか」「どんな組み合わせがいいのか」などについて知り、野菜を上手に食べる秘訣を学びましょう。	健康な食事/野菜の摂取量	田中 弘美 (短期大学部 准教授)	一般（学生含む）	40名程度	プロジェクタ、スクリーン
	37	食生活と健康づくり	健康づくりには、「栄養」「運動」「休養」の3つのバランスが大切ですが、中でも、栄養（食生活）が基本となります。今、食に関する問題が多く提起されている中で新しい話題を取り上げながら、日々の食生活について考えます。	健康/栄養/食生活	短期大学部 食物栄養学科	一般	40名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン
	38	「じわもん」ってなんや？ ～産地地消と郷土料理～	国内だけではなく、世界中の食べ物を手に入れることができるなか、地域の食材が注目されています。一方、「和食」が世界無形文化遺産に登録され、伝統的な食への関心も高まっています。ここでは、いしかわの食材や郷土料理を取り上げます。	食文化/地場産物/郷土料理	短期大学部 食物栄養学科	一般	40名	パソコン、プロジェクタ、スクリーン

\*使用機材等については、ご要望に応じて調整いたします。

## 出張講座について

北陸学院大学では地域貢献事業の一環として、出張講座を行っています。

上記一覧に記載の講座について、定員以内の講座は無料で実施しております。講師謝礼・交通費などの諸費用は本学が負担します。※石川県内のみ

定員以上での実施をご希望の場合や石川県外の場合は「講演会」となりますので、講師謝礼・交通費をご負担ください。(金額は任意) 講座内容については講師とご相談ください。

保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校・高等学校の保護者向けの講座や、職員研修、また小学生・中学生・高校生向けの講座として、ぜひご利用ください。

## お申込み方法・流れ

1. 北陸学院大学ホームページ「地域教育開発センター」内、「出張講座」にある「出張講座申込書」(Excel)に必要事項をご記入の上、メールに添付してお申込みください。

Email : reddec@hokurikugakuin.ac.jp

2. 申込受付後、講師と日程調整の上、ご連絡いたします。※講師によっては、送迎をお願いする場合があります。

3. 講座開催決定後、代表者名で北陸学院大学学長宛に依頼文書(様式は任意)をご提出ください。

4. 講師との事前打ち合わせ等が必要な場合はご連絡ください。

5. 講座実施日は、機材等の準備をお願いいたします。

※当日アンケートを持参いたしますので、ご協力をお願いいたします。回収後、ご返送ください。(恐れ入りますが、郵送料はご負担下さい。)

\*「講演会」をご希望の場合は「出張講座申込書」の提出は不要です。TEL：076-280-3580(代表)までご連絡いただき、講師と直接お話しください。

●講座開催決定後、やむを得ない理由によりキャンセルされる場合は、原則講座開催日の一週間前までにご連絡ください。

## < お問い合わせ >



北陸学院大学  
地域教育開発センター  
〒920-1396 石川県金沢市三小牛町イ11  
TEL：076-280-3856  
Email : reddec@hokurikugakuin.ac.jp